

令和 6 年度 第 2 回鳳来中部地域協議会 会議録

日 時	令和 6 年 5 月 2 4 日（金） 午後 7 時 0 0 分～午後 9 時 1 5 分	場 所	市民センターほうらい 集会室 3
出席者	委員 2 0 名		
	事務局 4 名		
欠席者	2 名	傍聴者	なし
議題・議事・発言等			
1 あいさつ 2 説明事項 （１）地域活動交付金事業について ①鳳来中部地域活動交付金申請状況について ②地域活動交付金審査会の実施について 3 協議事項 （１）地域活動交付金申請に関する質問事項について 4 その他 （１）第 3 回鳳来中部地域協議会（地域活動交付金採択審査会） （２）第 4 回鳳来中部地域協議会（地域自治区予算の編成）			
会議内容			
令和 6 年 5 月 2 4 日（金） 午後 7 時～午後 9 時 1 5 分 1 あいさつ 外山嗣会長 議事に先立ち、議事録署名人として安藤利勝委員と鈴木邦久委員を指名した。 2 説明事項 (1) 地域活動交付金事業について ・菅沼所長あいさつ。 ・事務局より、資料に沿って説明。 ①鳳来中部地域活動交付金申請状況について ・資料の訂正。 - 小川区自治会：継続年数 1 回目→ 4 回目 - 長篠こども園：継続年数 8 回目→ 9 回目。団体概要の「長」の字を追加。 ・一覧表合計額について、事業費 1, 8 7 7 千円から 1, 9 7 6 千円、申請額を 1, 7 8 0 千円から 1, 8 7 7 千円に変更を依頼。 ・5 月 1 0 日に募集を締め切り、8 団体から申請があった。 ・8 団体の交付金申請額の合計で 1, 8 7 7 千円。今年度地域活動交付金上限額 1, 8 1 4 千円に対し、6 3 千円の予算オーバーとなっている。 ②地域活動交付金審査会の実施について ○審査会当日の次第 ・6 月 1 4 日（金）午後 7 時から開始。			

- ・各団体によるプレゼンテーションは午後 7 時 15 分から開始予定。
- ・全ての団体のプレゼンテーション終了後、地域協議会委員と事務局のみで審査結果の取りまとめを行い、審査の可否を決定する。
- ・鳳来中部地域自治区では交付金申請額が 10 万円未満の団体については、プレゼンテーションを省略することができると定められている。プレゼンテーションの省略を希望された際は、質疑応答のみとなるため時間が若干短縮されることが見込まれる。【該当する団体】乗本万灯の麦を作る会

○審査会の流れ

- ・本日申請団体への事前質問を取りまとめ、団体に質問状を送付する。
- ・昨年までは審査会当日のプレゼンテーションの中で事前質問に対する回答をしてもらっていたが、時間内での回答が出来なかったりすることがあったので、今年度は回答を事前にいただき、審査会当日に書類を委員に配布する。
- ・団体の発表時間：7 分以内、質疑応答：3 分以内。それぞれ、終了時間 1 分前にベルを 1 回、終了時間にベルを 2 回鳴らす。
- ・質疑応答後、2 分間取り、地域協議会委員は審査票へ記入する。
- ・採点票は記入例を参考にさせていただく。採点票の右側評価の欄、5 ～ 1 の何れかに○を付けていただき、全ての項目に必ず○を付けていただく。また、事業に対して特に配慮が必要な点などがある場合は、意見欄に記入していただく。
- ・なお、審査については地域活動交付金審査基準に沿って採点していただき、採点に迷う場合は添付資料「評価の判断の目安」を参考にさせていただく。
- ・団体のプレゼンテーション後、休憩を挟んで審査結果の取りまとめを実施。
- ・事務局から採点結果を発表し、平均点が 30 点以上の団体が合格となる。また、採点票に記載された意見を基に、必要に応じて団体が事業を行う上での条件を付与することができる。
- ・この審査会の結果を基に市長が最終的に採択を決定する。
- ・今年度は、申請額が予算額をオーバーしているので、全てが採択となった場合は、平均点が一番低い団体は満額交付ができない。予算の範囲内で交付する形となる。
- ・資料により会場のレイアウトの説明。

○交付金申請団体代表者及び団体の構成員について

- ・鳳来中部地域協議会では、交付金申請団体代表者及び団体の構成員として申請者に記載されている地域協議会委員は、本人が所属する団体の審査に加わらないこととしている。該当委員は審査票の「関係者のために審査しません」を丸で囲む。
- ・今回下記の地域協議会委員が該当となる。
 - 【小川自治体：菅沼委員、橋本委員、矢澤委員】
 - 【蔵平元気はつらつ委員会：上野委員】
 - 【鳳来中部防災減災実行委員会：矢澤委員】
 - 【チーム小川：橋本委員、矢澤委員】
 - 【内金組住民会：安藤委員、外山委員、山本委員、金田委員】

- ・ 質疑なし

3 協議事項

事務局より、資料に沿って説明。

(1) 地域活動交付金申請に関する質問事項について

- ・ 交付金申請団体に、審査会に先立って事前質問を行っている。
- ・ 地域協議会から出された事前質問について、審査会前に書類で回答してもらい、回答をまとめたものを当日に配布する。
- ・ 地域協議会委員には、事前に地域活動交付金申請書の写しを送らせていただき、不明な点等について、本日の協議会で質問を取りまとめる。
- ・ 3つのグループを作らせていただき、各テーブルのリーダーは、外山会長、望月副会長の代理として矢澤委員、原田代表区長とし、質問のとりまとめとグループ内の進行及び内容の発表を依頼。
- ・ 1団体の申請につき、7分程度時間を取る。グループ内で質問事項について話し合いをして質問内容のとりまとめを依頼。事前に「活動交付金団体への事前質問用紙」を記入している委員にはグループ内で発表していただくよう依頼。

【質疑応答】

なし

○ 事務局より、「地域活動交付金の審査資料」に沿って、1小川区自治会の説明。

～ グループごとに意見交換 ～

- ・ 意見発表

《Aグループ》

- ・ 柵を設置。最近危険になったのか。柵だけで安全が保てるのか。施工するのに専門家がいますか。

《Bグループ》

- ・ 土地がどのような状況か。将来公園にする。釘などの危険なものが埋まっているか。
- ・ 柵ができたあとの具体的な計画は。

《Cグループ》

- ・ 74名の構成員はどういう人か。
- ・ 材料費のみ。安全対策は。
- ・ 将来的にどんな憩いの場にするか将来像が知りたい。

○ 事務局より、「地域活動交付金の審査資料」に沿って、2蔵平元気はつらつ委員会の説明。

～ グループごとに意見交換 ～

- ・ 意見発表

《Aグループ》

- ・ 上野委員がグループおり、内容の確認できた。剪定のための進入路を作る。4年計画の3年目。最後の年に剪定する。

《Bグループ》

- ・お寺の場所はどこか。

《Cグループ》

- ・避難場所。安全面はいいか。
- ・砂防工事は関係あるか。
- ・見積書の内容。業者任せ。地元の人がどれだけ関わるか。
- ・土地を借りる。この後借地のまま。

○ 事務局より、「地域活動交付金の審査資料」に沿って、3 長篠こども園おひさまクラブ会の説明。

～ グループごとに意見交換 ～

- ・意見発表

《Aグループ》

- ・毎年申請しているので、特に問題ない。代表者のことを聞いて感銘を受けた。
- ・冬祭りを企画しているので、詳細を教えてください。

《Bグループ》

- ・代表者は移住してきた人。借り手の営農状況は。

《Cグループ》

- ・さつまいもは昔もやっていた。今回始めて。
- ・鳥獣害対策はどうか。期間中の管理方法は。
- ・冬祭りは子供や親の意見を反映しているか。

○ 事務局より、「地域活動交付金の審査資料」に沿って、4 キムランニングの説明。

～ グループごとに意見交換 ～

- ・意見発表

《Aグループ》

- ・事業自体は素晴らしい。会員85名の内地区内が24名。他の地域でやる場合備品がどうなるか。
- ・教育委員会でやる事業ではないか。協議会の枠を外れているのでは。

⇒事務局意見：現役の中部出身者、構成員である地区内の居沢さんの息子も好成績を納めている。中部地区で応援するのか。拠点を変更する可能性があるか確認。

《Bグループ》

- ・会則の誤字がある。
- ・対象は小中学生だけか。
- ・代表が桑名市。通って来られるのか。実際の居住地は。

《Cグループ》

- ・この内容が交付金の対象となるのか。
- ・計画書の事業期間が7月1日からの1ヶ月。計画表の内容もずさん。
- ・月額2,000円。会場を借りるだけの値段か。他の支出状況を知りたい。

○ 事務局より、「地域活動交付金の審査資料」に沿って、5 中部防災・減災実行委員会の説明。

～ グループごとに意見交換 ～

《Aグループ》

- ・ 昨年の反省を踏まえてとあるがどういう実績か。
- ・ 小学校のPTAの防災教育との関連性は。
- ・ 昨年と金額が違うが内容の違いは。

《Bグループ》

- ・ 防災訓練との関連性は。

《Cグループ》

- ・ 参加者を増加させるための方策は。広報の仕方。
- ・ 地域の自主防災とのコラボの可能性は。
- ・ スタッフ10人だけで運営できるのか。

○ 事務局より、「地域活動交付金の審査資料」に沿って、6チーム小川の説明。

～ グループごとに意見交換 ～

- ・ 意見発表

《Aグループ》

- ・ サウナ体験など魅力的な内容であるが、地域外の人参加可能か。
- ・ 日程がアバウトなので、決まっているのなら教えてほしい。

《Bグループ》

- ・ カヌーは川の使用許可などは必要か。
- ・ どのあたりの川を使用するのか。
- ・ 浅間山のガイドツアーなど雨天時はどうするのか。
- ・ マウンテンバイクのコースはどこか。

《Cグループ》

- ・ 小川区の人がどれくらい運営に関わるのか。
- ・ 謝礼だけだが、備品などの確保などはどうするのか。
- ・ ライフジャケットの着用など、安全への配慮は。
- ・ 年間活動計画の人数は参加者なのか、スタッフなのか。

○ 事務局より、「地域活動交付金の審査資料」に沿って、7内金組住民会の説明。

～ グループごとに意見交換 ～

- ・ 意見発表

《Aグループ》

- ・ 裃等の衣装とは。その場で説明。

《Bグループ》

- ・ 質疑なし

《Cグループ》

- ・ お祭りが継続できるようにして欲しい。

○ 事務局より、「地域活動交付金の審査資料」に沿って、8乗本万灯の麦を作る会の説明。

～ グループごとに意見交換 ～

- ・ 意見発表

《Aグループ》

・質疑なし

《Bグループ》

- ・麦を作る農地はどこか。
- ・構成員4名。保存会の会員数は。何名ぐらい手伝うか。
- ・これまで麦はどうやって調達していたか。
- ・愛知県無形民俗文化財であるが、県などの補助は。

《Cグループ》

- ・万灯をやる上で、警備など困りごとは。

○とりまとめた質問事項は、事務局から事前に申請団体へ送付し、書面にて回答をいただく。

○審査資料については、審査会終了後に回収する。資料に氏名の記入を依頼。

○審査会当日においても、申請団体へ質問する時間があるので、追加で質問があればお願いしたい。質問があれば挙手を依頼。

《質疑なし》

4 その他

(1) 鳳来中部地域協議会のスケジュールについて

①第3回鳳来中部地域協議会（地域活動交付金採択審査会）

日時：令和6年6月14日（金）19時00分から

場所：鳳来総合支所 市民センターほうらい 集会室2、3

②第4回鳳来中部地域協議会（地域自治区予算の編成）

日時：令和6年6月28日（金）19時00分から

場所：鳳来総合支所 市民センターほうらい 集会室3

- ・他地区の協議会では、協議会内で次回開催の確認をしているので、改めて事務局から手紙を送らないでいいと意見が出た。鳳来中部でもどうか。

【質疑応答】

- ・今後の協議会全部そうか。
→そのように考えている
- ・賛成多数。送付しないこととする。

閉会

（終了 午後9時15分）